

Ⅶ 果 樹

1 柑 橘

1) 温州

(ア) 慣行化成肥料を使用する場合

(1) 極早生及び早出し早生

(kg/10a)

地方	目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹 齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)							
		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月上旬	9月下旬 ～ 10月上旬	10月下旬 ～ 11月上旬				
地方の低い地域	-	5	4	4	植栽時 ～2年	(植栽時～3年) 100本あたり 幼木肥料	成分	3月上旬	9月下旬 ～ 10月上旬	10月下旬 ～ 11月上旬				
	-	7	5	5	3									
	400	10	6	8	4		N	40	30	30				
	1,000	12	7	10	6									
	2,000	16	10	13	8						P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	40	30	30
	3,000	20	12	16	10									
	3,500	24	14	19	13									
4,000	26	16	21	15年以上										
地方中庸以上の地域	-	4	3	3	植栽時 ～2年	(4年以降) 10aあたり 成木肥料	成分	3月上旬	9月下旬 ～ 10月上旬	10月下旬 ～ 11月上旬				
	-	6	4	4	3									
	400	8	5	6	4		N	40	30	30				
	1,000	10	6	8	6									
	2,000	14	8	11	8						P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	40	30	30
	3,000	19	11	14	10									
	3,500	20	12	16	13									
4,000	22	13	18	15年以上										

注) 早出し早生：10月中旬までに出荷を完了するもの

(2) 早生温州

(kg/10a)

地方	目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹 齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)							
		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月上旬	5月下旬	10月下旬				
地方の低い地域	-	5	4	4	植栽時 ～2年	(植栽時～3年) 100本あたり 幼木肥料	成分	3月上旬	5月下旬	10月下旬				
	-	7	5	5	3									
	400	10	6	8	4		N	40	20	40				
	1,000	12	7	10	6									
	2,000	16	10	13	8						P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	40	30	30
	3,000	20	12	16	10									
	3,500	24	14	19	13									
4,000	26	16	21	15年以上										
地方中庸以上の地域	-	4	3	3	植栽時 ～2年	(4年以降) 10aあたり 成木肥料	成分	3月上旬	5月下旬	10月下旬				
	-	6	4	4	3									
	400	8	5	6	4		N	40	20	40				
	1,000	10	6	8	6									
	2,000	14	8	11	8						P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	40	30	30
	3,000	19	11	14	10									
	3,500	20	12	16	13									
4,000	22	13	18	15年以上										

## (3)高糖系温州

(kg/10a)

土壌	目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)			
		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月上旬	6月下旬	11月上旬
全 土 壌	-	5	4	4	植栽時 ~2年	(植栽時~3年) 100本あたり 幼木肥料	N	40	20	40
	-	7	5	5	3					
	400	10	6	8	4					
	1,000	14	8	11	6	(4年以降) 10aあたり 成木肥料	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	40	30	30
	2,000	18	11	14	8					
	3,000	22	13	18	10					
	3,500	26	16	21	13					
4,000	30	18	24	15年以上						

## (4)マルチ栽培

(kg/10a)

地力	目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)			
		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月上旬	夏肥	秋肥
地 力 の 低 い 地 域	-	5	4	4	植栽時 ~2年	(植栽時~3年) 100本あたり 幼木肥料	成分	3月上旬	夏肥	秋肥
	-	7	5	5	3					
	400	10	6	8	4					
	1,000	14	8	11	6	(4年以降) 10aあたり 成木肥料	N	40	20	40
	2,000	18	11	14	8					
	3,000	22	13	18	10					
	3,500	26	16	21	13					
4,000	30	18	24	15年以上						
地 力 中 庸 以 上 の 地 域	-	4	3	3	植栽時 ~2年	(4年以降) 10aあたり 成木肥料	成分	3月上旬	6月上旬	11月上旬
	-	6	4	4	3					
	400	8	5	6	4					
	1,000	12	7	10	6	N	40	20	40	
	2,000	16	10	13	8					
	3,000	20	12	16	10					
	3,500	22	13	18	13					
4,000	24	14	19	15年以上						

注1) 夏肥はマルチ被覆前、秋肥はマルチ除去後に施用する。

2) 乾燥している場合はかん水をして吸収を促進する。

(イ) 肥効調節型肥料を使用する場合

(マルチ栽培)

施肥の省力化のために、肥効調節型肥料(180日溶出型)たとえばエコロング180(N14%、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>12%、K<sub>2</sub>O14%)等をN成分で慣行年間施肥量の約80%を3月上旬に施用する。

(ウ) 低成分肥料を使用する場合

(極早生及び早出し早生、早生温州、高糖系温州)

リン酸、カリ成分が土壌に蓄積した園地では、施肥のコスト低減のために、リン酸、カリ成

分を低減したL型肥料たとえば園芸複合 846 (N 18%、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 4%、K<sub>2</sub>O 6%)等をN成分で慣行施肥と同量を同時期に施用してもよい。ただし、定期的に土壌、樹体の栄養診断を行い、不足することがないように注意する。

2) ハウスミカン

(kg/10a)

施肥区分	目標収量 (kg)	成分量(kg)			施肥時期および割合(%)			備考	
		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	成分	収穫直後	10月下旬		
早期出荷型	6,500	20	16	18	成分			N : P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> : K <sub>2</sub> O =10 : 8 : 9	
夏枝母枝利用 6~8月上旬					N	70	30		
					P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	70	30		
後期出荷型	8,000	24	19	22	成分	3月上旬	6月上旬		
					春枝母枝利用 8~9月	N	70		30
						P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	70		30
					K <sub>2</sub> O	70	30		

注1) 肥料は有機質肥料を主体とする。

2) 銅欠乏、亜鉛欠乏、マンガン過剰、ホウ素過剰に注意する。

3) 堆きゅう肥等有機物を5t/10a程度投入する。

4) 客土も積極的に行う。

5) 火山灰土壌のハウスについては、施肥量を1~2割程度減ずる。

3) 中晩生柑橘

(ア) 慣行化成肥料を使用する場合

(1)清見

(kg/10a)

目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)					備考	
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬		
-	7	5	5	植栽時 ~2年	(植栽時~3年)							
-	10	7	7	3	100本あたり	N	30	30	20	20		
400	15	11	12	4	幼木肥料							
1,000	20	14	16	6	(4年以降) 10aあたり	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	30	30	20	20		
2,000	28	20	22	8								
3,000	35	25	28	10								
4,000	40	28	32	12年以上	成木肥料	K <sub>2</sub> O	30	30	20	20		

(2)セミノール

(kg/10a)

目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)					備考	
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬		
-	7	5	5	植栽時 ~2年	(植栽時~3年)							
-	10	7	7	3	100本あたり	N	30	30	20	20		
500	15	11	12	4	幼木肥料							
1,000	20	14	16	6	(4年以降) 10aあたり	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	30	30	20	20		
2,000	28	20	22	8								
3,000	35	25	28	10								
4,000	40	28	32	12年以上	成木肥料	K <sub>2</sub> O	30	30	20	20		

## (3)不知火

(kg/10a)

目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)					備考
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	
-	7	5	5	植栽時 ~2年	(植栽時~3年) 100本あたり 幼木肥料	成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	
-	10	7	7	3							
400	15	11	12	4	(4年以降) 10aあたり 成木肥料	N	30	30	20	20	
1,000	20	14	16	6							
2,000	28	20	22	8							
3,000	35	25	28	10							
4,000	40	28	32	12年以上		K <sub>2</sub> O	30	30	20	20	

## (4)甘夏

(kg/10a)

目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)					備考
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	
-	7	5	5	植栽時 ~2年	(植栽時~3年) 100本あたり 幼木肥料	成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	
-	10	7	7	3							
500	14	10	11	4	(4年以降) 10aあたり 成木肥料	N	30	30	20	20	
1,000	18	13	14	6							
2,000	23	16	18	8							
3,000	28	20	22	10							
4,000	35	25	28	12年以上		K <sub>2</sub> O	30	30	20	20	
5,000	38	27	30	15年以上							

## (5)宮内伊予柑

(kg/10a)

目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)					備考
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	
-	7	5	5	植栽時 ~2年	(植栽時~3年) 100本あたり 幼木肥料	成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	
-	10	7	7	3							
500	14	10	10	4	(4年以降) 10aあたり 成木肥料	N	30	30	20	20	
1,000	20	14	14	6							
1,500	24	17	17	8							
2,000	28	20	20	10							
3,000	35	25	25	12年以上		K <sub>2</sub> O	30	30	20	20	
4,000	38	27	27	15年以上							

## (6)ネーブル

(kg/10a)

目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齡	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)					備考
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	
-	7	5	5	植栽時 ~2年	(植栽時~3年)	成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	
-	10	7	7	3	100本あたり						
500	14	10	10	4	幼木肥料	N	30	30	20	20	
1,000	20	14	14	6		P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	30	30	20	20	
1,500	24	17	17	8	(4年以降)						
2,000	28	20	20	10	10aあたり	K <sub>2</sub> O	30	30	20	20	
3,000	35	25	25	12年以上	成木肥料						
4,000	38	27	27	15年以上							

## (7)八朔

(kg/10a)

目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齡	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)					備考
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	
-	7	5	5	植栽時 ~2年	(植栽時~3年)	成分	3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	
-	10	7	7	3	100本あたり						
400	14	10	10	4	幼木肥料	N	30	30	20	20	
1,000	18	13	13	6		P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	30	30	20	20	
1,500	22	15	15	8	(4年以降)						
2,000	26	18	18	10	10aあたり	K <sub>2</sub> O	30	30	20	20	
3,000	30	21	21	12	成木肥料						
4,000	34	24	24	15年以上							

## (8)ポンカン

(kg/10a)

目標 収量 (kg)	成分量(kg)			樹齡	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)							
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	越年完熟				年内採取		
							3月 上旬	6月 上旬	9月 上旬	11月 上旬	3月 上旬	6月 上旬	11月 上旬
-	7	5	5	植栽時 ~2年	(植栽時~3年)	N	30	30	20	20	40	30	30
-	10	7	7	3	100本あたり								
400	14	10	10	4	幼木肥料	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	30	30	20	20	40	30	30
1,000	18	13	13	6	(4年以降)								
2,000	23	16	16	8	10aあたり	K <sub>2</sub> O	30	30	20	20	40	30	30
3,000	27	19	19	10	成木肥料								
4,000	30	21	21	12年以上									

(イ) 肥効調節型肥料を使用する場合

施肥の省力化のために、肥効調節型肥料（180 日溶出型）たとえばエコロング 424M 180type（N 14%、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 12%、K<sub>2</sub>O 14%）等を N 成分で慣行年間施肥量の約 80%を 3 月上旬に施用する。

(ウ) 低成分肥料を使用する場合

リン酸、カリ成分が土壤に蓄積した園地では、施肥コスト低減の為、リン酸、カリ成分を低減した L 型肥料たとえば園芸複合 846（N 18%、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 4%、K<sub>2</sub>O 6%）等を N 成分で慣行施肥と同量を同時期に施用してもよい。ただし、定期的に土壤、樹体の栄養診断を行い、不足することがないように注意する。

#### 4) 食酢用柑橘

(ア) 慣行化成肥料を使用する場合

##### (1)カボス

(kg/10a)

目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)					備考
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月 上旬	5月 下旬	8月 上旬	10月 中旬	
-	5	4	4	植栽時 ~2年	(植栽時~3年) 100本あたり 幼木肥料	N	20	30	30	20	
-	8	6	6	3							
400	12	7	10	4	(4年以降) 10aあたり 成木肥料	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	20	30	30	20	
1,000	17	10	14	6							
1,500	21	13	17	8	成木肥料	K <sub>2</sub> O	20	30	30	20	
2,000	24	14	19	10							
2,500	27	16	22	12							
3,000	30	18	24	14							
3,500	32	19	26	15年以上							

##### (2)ゆず

(kg/10a)

目標収量 (kg)	成分量(kg)			樹齢	植栽本数 肥料	施肥時期および割合(%)					備考
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O			成分	3月 上旬	5月 下旬	8月 上旬	10月 中旬	
-	5	4	4	植栽時 ~2年	(植栽時~3年) 100本あたり 幼木肥料	N	30	20	20	30	
-	8	6	6	3							
500	12	7	10	4	(4年以降) 10aあたり 成木肥料	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	30	20	20	30	
1,000	15	9	12	6							
1,500	18	11	14	8	成木肥料	K <sub>2</sub> O	30	20	20	30	
2,000	22	13	18	10							
2,500	24	15	19	12							
3,000	26	16	21	14							
				15年以上							

(イ) 肥効調節型肥料を使用する場合

施肥の省力化のために、肥効調節型肥料(180日溶出型)たとえばエコロング 424M 180type (N 14%、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 12%、K<sub>2</sub>O 14%)等をN成分で慣行年間施肥量の約80%を3月上旬に施用する。

(ウ) 低成分肥料を使用する場合

リン酸、カリ成分が土壌に蓄積した園地では、施肥コスト低減の為、リン酸、カリ成分を低減したL型肥料たとえば園芸複合 846 (N 18%、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 4%、K<sub>2</sub>O 6%)等をN成分で慣行施肥と同量を同時期に施用してもよい。ただし、定期的に土壌、樹体の栄養診断を行い、不足することがないように注意する。

5) 施肥上の留意点

- (1)高接樹の施肥は、接木当年は接木前施肥量の2~3割減とし、翌2年目には元の施肥量に戻す。  
施肥回数は、接木1~2年目ともに年6回分施とする。  
施肥の省力化のために、肥効調節型肥料(180日溶出型)たとえばエコロング 424M 180type (N 14%、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 12%、K<sub>2</sub>O 14%)等をN成分で慣行年間施肥量の約80%を3月上旬に施用する。  
これに加えて、堆きゅう肥等の有機物を十分に施用する。  
接木3年目以降の施肥は、更新品種の施肥基準を適用させる。そして、施肥量が更新前の施肥量よりも少なくならないようにする。
- (2)中晩生柑橘に対しては、生育期にたえず養分を吸収させることが樹勢維持に必要。この点からは、分肥や堆きゅう肥等の有機物の施用は良い。  
特に、砂質土壌、礫の多い土壌、根の浅い土壌等では、分施肥回数を多くするとともに、緩効性肥料や堆きゅう肥等の施用による養分吸収の持続性に努める。  
施肥の省力化のために、肥効調節型肥料(180日溶出型)たとえばエコロング 424M 180type (N 14%、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 12%、K<sub>2</sub>O 14%)等をN成分で慣行年間施肥量の約80%を3月上旬に施用する。
- (3)土壌pH(H<sub>2</sub>O)が6.5以上の園は、その年は石灰の施用を休止する。
- (4)甘夏、カボス、ゆず、宮内伊予柑、極早生及び早生温州などの品種では苦土欠乏が出やすいので、これらの栽培地域や、また、県南地域の古生層土壌地帯では苦土資材の補給に努める。